

光泉高等学校 部・同好会活動方針 2019

各部で活動方針をまとめ、全校生徒の前で宣言しました。

● 生徒会執行部	1	● 吹奏楽部	8
● 硬式野球部	2	● 放送部	8
● 男子バスケットボール部	2	● 将棋部	8
● 女子バスケットボール部	2	● 英会話部	9
● テニス部・男子	3	● 文芸漫画部	9
● テニス部・女子	3	● 華道部	10
● ラグビーフットボール部	4	● コーラス部	10
● アイスホッケー部	4	● 茶道部	11
● 男子バレーボール部	5	● 数学部	11
● サッカー部	5	● 書道部	11
● 陸上競技部	6	● 自然探究部	11
● バドミントン部	6	● ボランティア同好会	12
● 剣道部	7	● コンピュータ同好会	12
● 卓球部	7	● SRP(スペース・ロボット・プロジェクト)	13

●生徒会執行部

私たち生徒会は光泉高校を「超変革」することを目指します。この目標には私たち生徒会執行部全員が持つ「生徒会活動を今以上に素晴らしいものに変えていこう」という決意が込められています。

生徒会の活動の場は大きく分けて校内と校外の二つに分けることができます。まず、校内の活動についてですが、私たちが前述した目標を達成するために、二つのことに取り組みます。

一つ目は生徒の皆さんが持つ様々な意見を集めます。そして集めた意見や考えを高校生活を今以上に良くするために、活用します。具体的には誰もが生徒会役員に意見や考えを伝えられるように目安箱の設置を図りたいと思います。目安箱には匿名で学校に対する意見をいつでも入れられるようにし、投じられた内容に真摯に向き合い、先生方と議論します。

二つ目はペットボトルキャップについてです。生徒会は皆さんが分別したキャップを集めて洗い、業者の方に渡しています。しかし、この活動は忙しい生徒会の重荷になっており、現在はしていません。そこで今回、従来からの変化を掲げる私たちはこの活動を再開し、資源の再利用という社会的貢献をします。続いて校外の活動についてです。生徒会の活動の一環として SP 活動というのがあります。SP 活動とは自転車盗難被害や迷惑行為を防ぐ啓発活動として、JR 南草津駅前啓発チラシやうちわ、ティッシュ、などを配布しながら呼びかけるものです。私たちはこの活動により一層、力を入れることで学校周辺地域の安全確保の一端を担い、地域社会に貢献していきます。

今後、私たち生徒会は以上「生徒の皆さんの意見の吸い上げ」「資源の再利用によるエコ活動」「地域社会との協力」の三つの活動を基本方針として、目標に向かって活動することで校内だけでなく地域や社会に貢献していきます。

●硬式野球部

僕たち硬式野球部は、甲子園ベスト 16 と国民体育大会出場を目標に日々の練習やトレーニングに汗を流しています。部員は 2・3 年生で選手が 51 名、マネージャー 3 名の合計 54 名で活動しています。

硬式野球部では、毎週月曜日を休みにし、体のケアと学習の予習・復習にあてています。

また、月・水・金の朝には 3 班に分かれて地域清掃や自分たちが使用している新グラウンドや第 2 グラウンドの環境整備、そして校舎内清掃を行っています。これらの活動を通して、地域の方々や学校の先生方、あるいは生徒のみんなに応援してもらえる硬式野球部を目指しています。

僕たちのもう 1 つの大きな目標は、僕たち硬式野球部が学校を盛り上げ、学校行事などで皆の先頭に立ち、より一層思い出に残る企画・演出を実践したいということです。そのためには、日々頑張っている練習の成果を大会で発揮し、結果を出すことも必要です。そして、甲子園に出場して勝利し、光泉高校の校歌をスタンドの皆さんとともに堂々と歌いあげることで、今よりもっと光泉高校を魅力的な学校に変えられるはずだと確信を持っています。

日々の学校生活や練習・トレーニングに対して気を抜かず、集中して取り組み、少しでも学校に貢献できるように「一球入魂」をモットーに頑張っていきます。

●男子バスケットボール部

我々、男子バスケットボール部は部員 3 年生 8 名、2 年生 10 名の 18 名で活動しています。夏のインターハイ、冬のウィンターカップはそれぞれ 14 回全国大会に出場を果たしています。過去には全国大会 3 位という輝かしい成績を先輩たちが残してくれました。僕たちは全国大会に出場し、ベスト 8 に入賞することを目標に、日々練習に励んでいます。去年は新人戦、インターハイ予選では優勝することができましたが、冬の大舞台であるウィンターカップ予選には準優勝という結果に終わり、涙のみました。その悔しさをバネに、どんなにつらく、厳しい練習でもチーム一丸となって乗り越えてきました。

後方入り口の幕を見て下さい。「激走」全員が走るバスケットを目指しています。「努力は絶対に裏切らない！だから頑張るんだ！！」を合言葉に、伝統である強いディフェンスから速攻へつながる展開が必要です。そして、どこからでも得点が取れるオフェンス能力に磨きをかけています。また、部活動を通じて普段の生活で大切な「あいさつ」や「言葉遣い」「公衆マナー」など、スポーツマンとしての精神を心がけています。行事の時などは、イス並べなどの準備を積極的に行うことで、陰ながら行事を支えています。

このように男子バスケットボール部はより一層、技と心に磨きをかけ、より一層の人間力を高めることを目指しています。「選手である前に、生徒であれ！」を常に心に置き、学習とスポーツを両立させ、素晴らしい感動を与え、だれからも応援してもらえるチーム作りを基本にしています。日々高い目標を掲げ、少しでも進歩して、強い相手に勝つことができるように練習を重ね、不屈のチャレンジ精神を持って、今後も望んで行きます。ありがとうございました。

●女子バスケットボール部

私たち女子バスケットボール部の今年の目標は春季総体でベスト 8 に入ることです。去年の大会ではベスト 16 や一回戦負けで悔しい思いをしました。その思いを糧に、目標を達成するために日々の練習では私たちの強みである強いディフェンスをチームカラーとしています。また、県外の強豪校に遠征に行き他チームのバスケットに対する意識の高さを学び、部活でバスケットを作り先輩・後輩に関わらず、練習で感じた事や良かった事や直すべき点を書き意見交換すること、普段中々伝えられない親や仲間・先生に対する感謝の気持ちを書くように心がけています。

また、バスケット部では部活以外でも先生や仲間同士の挨拶の徹底毎日使っている更衣室の掃除をしています。さらに、私たち達が毎週月曜日に行っている外での練習では河川敷の周りを走った後、帰り道に河川敷のゴミ拾いを行い地域の環境美化に取り組んでいます。これらの活動は部活だけでなく社会に出たときに役立つ力を身につけることができる良い機会だと思って

います。

私たちちバスケット部は、周りの人から応援されるチームとなれるように部活面では例えば何事も率先して行動すること学校や生活面では、決められた校則を守る事や行事に全力で取り組むことなどをチーム全員で徹底しようと考えています。技術面は、顧問の先生に指導をしてもらっていますが、練習や試合後のミーティングでは部員達が気づいた事を共有し合うなど思ったことを気軽に話せる良い関係だと思っています。このように、私たち女子バスケット部は主体性を身に付けるためにも自分たちで考えチーム作りをしています。

今年の春季総体でベスト8に入るためにも、周りの人から応援されるチームになるためにも新入生のみなさんの力が必要です。ぜひ、一緒に楽しくバスケットしながらこの目標と一緒に達成させましょう。少しでもバスケットに興味のある人や中学校の時にバスケットに入っていた人など、一人でも多くの部員をお待ちしております。

●テニス部・男子

私たちは3年生が4名、2年生が11名の計15人で活動しています。放課後の練習だけでなく、週に2回朝練もしています。主に学校のテニスコートで練習していますが、月に何回か学校外のコートでも練習をしています。

テニス部の目標は全国大会でベスト8以上に入ることです。また、テニスの技術向上だけでなく、人間性の向上も目標としています。この目標を達成するために、長時間の練習でも気を緩めることなく、チーム全員で声を出し合い、練習に取り組んでいます。また、顧問の先生が決めた練習だけでなく、自分たちに今、何が必要なのか、そのためにどういった練習をすれば良いのかを話し合っ練習内容を決めて取り組んだりしています。

テニス部はとても試合が多く、勉強との両立が大変ですが、手を抜かずに頑張っています。練習試合や遠征もたくさんあり、テニス面だけでなく、生活面でも貴重な経験をすることができます。

努力を積んできた結果、10年以上連続で全国大会に出場していて、一昨年のインターハイではベスト8に入ることができました。それ以上の結果を残すために今、僕たちも全力で練習に取り組んでいます。

僕たちは学校でも積極的にあいさつや手伝いをしています。日々の掃除や大掃除、行事の際の準備や後片付けにも積極的に取り組み、学校にも貢献できるように日々、努力を続けています。

●テニス部・女子

私たち女子テニス部は、現在3年生が4人、2年生が11人の計15人が活動しています。私たちは、学校生活を通して、プレイヤーとしての技術だけではなく、心身共に成長することを目標としています。この目標に向かう為、大きく分けて3つの事を身につけられるようにしています。

1つ目は、結果だけではなくその結果に繋がる過程を大切にすることです。スポーツ競技に携わる以上、勝敗は必ず付きます。しかし結果が最も重要ではありません。なぜなら、試合で負けたとしても負けから学べることはたくさんあるからです。この具体例としては、プレイの技術練習を見つめ直すことがあります。「この打ち方は良かったけれど、さっきのは悪かった」など一回一回考えて練習できる人は自分の強みも弱みも見極めて活かすことができます。また、我慢強く練習して、経験を積むことによってよりプレイの技術が身に付かずです。より良い結果を出すには、物事に対して深く考察する力が必要であるからこそ、試合に向けての練習過程を大切にしています。

2つ目は良好な人間関係を育み、主体的に行動できる力を持つことです。女子テニス部は類や学年を越えて交流することができます。周りの人と意見を交わすことが増えていくにつれてアドバイスをもらい、次第に自分の考えに自信が持て主体的に行動できる力も養われます。

3つ目は強い心を養うことです。十分な練習をしてきても緊張することで力を試合中に発揮できなくなることもあります。そうならない為に、私たちは多くの練習試合を組んで頂いて実践的な練習を積んでいます。このようにして、一つ一つのポイントや試合を大切にプレイすることができるようになります。

この3点をスポーツ競技以外に学業にも活かして充実した学校生活を過ごしています。これを機に少しでも女子テニス部に興味を持って頂ければ幸いです。

●ラグビーフットボール部

私たちラグビー部の今年の目標は日本一になることです。去年、一昨年と第3グラウンド（人工芝）という素晴らしい環境の中で練習を積み重ねてきましたが、望み通りの結果を出すことができませんでした。目標としている全国大会の舞台に立つことができなかつたので、今年こそはその屈辱を晴らすため、常に高い意識を持ち、細かい所まで追究し、全国制覇という目標を実現させていきます。目標を達成するためにも最後の大会までにある、セブンス（七人制ラグビー）や春季大会など1つ1つの大会を大切に、その大会を通して得られた課題をチームで解決しながら、全国大会に向けて日々努力を積み重ねていきます。

もちろん、私たちだけの力では、全国制覇という目標を達成することはできません。そこでその目標を達成させるためには、多くの新入部員やマネージャーの協力が必要となります。多くの新入部員が入部してくれることを期待しています。もちろん初心者でも大歓迎です。

ラグビーは体の大きい小さい関係なく誰でも自分に合うポジションがあり、仲間を思いやり仲間のために体を張る素晴らしいスポーツなので、例えば自分で「身体が小さいな」と思っている人や、「足があまり速くないな」と思っている人でもそれぞれ活躍できる場面やポジションがあります。

また、ラグビー部は部活動だけではなく、学習をはじめ学校生活としっかり両立できる環境の確立を目指し、何事においても懸命に取り組みます。例えば、体育大会や光凛祭などの行事ごとに、ラグビー部から率先して素晴らしいものにしていきます。

他にも学校をよりよくするためにも、先生や生徒間だけではなく、地域の人々への挨拶を徹底しています。挨拶は人と人とを繋げ、どちらとも心地よい気分させます。そのためラグビー部から率先して挨拶をすることでより良い光泉高校を作る手本となります。

どの部活でも練習と私生活は繋がっていると言われてしています。そのため、今年は何の部活よりも規律を守り、学校の見本となるような行動をし、地域の人々や友人、クラスメイト、先生方など誰からも応援されるようなラグビー部を目指します。

今年はラグビーワールドカップが行われ、この滋賀県でも出場国がキャンプをするため注目されています。ラグビーというスポーツに興味を持った人は、一度、放課後に第3グラウンドに足を運んでみてください。

●アイスホッケー部

私達アイスホッケー部の目標はインターハイに出場し、ベスト8に入ることである。アイスホッケー部は12年前に創部して以来、長きに渡りこの目標に挑み続けてきました。しかし未だにこの大きな壁を乗り越えることはできていない。卒部された先輩方の思いを胸に、今年こそはと部員一同心を燃やし日々の氷上練習と陸上でのトレーニングに励んでいる。その目標を達成するために「日々成長するチーム」と「声で一丸となるチーム」を目指すことを決めた。これらのことを一瞬たりとも忘れることなく努力を積み重ねていきたい。

また、この部活を通して礼儀や人間性を培うことと、何事にも感謝できる人になることを目的とする。自分の好きなスポーツをできていることがどれだけ恵まれたことなのかを理解し、両親や地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、そして好きな事だけをするのではなく、周りへの「目配り」「気配り」「心配り」を忘れず、自分のできる事に積極的に取り組み周りの方々から応援されるような部活になりたい。

アイスホッケー部として光泉高校に貢献するために、まず様々な行事で先頭に立ち準備や片付けを行って学校行事を盛り上げる。また、日々の学校生活における挨拶を率先して大きく元気な声ですることによって、学校をより明るくより爽やかに変え、学校に来ることが楽しみになる人が増えていようになりたい。その一方で授業中は、真面目に且つ積極的に取り組み、生徒の模範になっていきたいと考える。楽しむところと真剣なところのメリハリをアイスホッケー部としての自覚を持ってつけていくことを目

指す。

そして何より光泉アイスホッケー部が強くなっていくことこそが学校への一番の貢献だと考える。全国に知ってもらえるような活躍をして、全国から光泉高校に行きたいと思う人が増えるようにどんな困難もチームで団結して乗り越え、どんな相手でも打ち勝っていこうと考える。

最後に、光泉生である事と、アイスホッケー部である事とともに日々を過ごし、光泉と言えばアイスホッケー部と言われるように責任を持って学校生活と練習に臨んで行こうと考える。

●男子バレーボール部

私たちバレーボール部は3年生7人2年生10人マネージャー4人の計21人で活動しています。今年2月にあった県新人戦では県3位に入賞しました。バレーボールの特徴は、他の球技と違いボールが床についたら終わってしまうことです。だから、バレーボールでは瞬発力や仲間のプレイをカバーする力が必要です。そのため自分から考えて行動する主体性が必要です。特に瞬時に判断する力と行動力が大切です。

バレーボールから私たちが学ぶことは、毎日過ごしている生活行動と全て繋がっていると思います。また私たちバレーボール部は中学校での経験者は17名中3名だけで部員の大半が初心者です。その中で今ある環境をどんな気持ちをもって日々取り組むかを大切にしています。一人一人が基本を大切に今の課題をどう改善していくかを考え、次の大会の目標を明確にして、その目標を達成するためにチーム内で話し合い、自分で考えて行動することを大切にしています。この地道な繰り返しで県大会3位に繋がったと思います。

では部活動は勝てば良いだけでよいでしょうか？強いことも大切ですが部活動を通して自分がどう社会に貢献できる人に成長しているかが重要だと思います。バレー部では大会や練習試合などで郊外に出たときに、積極的に準備や片付け、ゴミ拾いなどをすることを心がけています。また謙虚な気持ちで「ありがとう、ごめんなさい」と素直に言える人間になることもバレー部では部の目標としていて、これらを進んで行動することができれば人間力の成長に繋がると思われ、他の人から応援してもらえる人になれると思います。

先にも話しましたがバレーボールの特徴としてボールが床に落ちたら終わってしまいます。私たちはボールを落とさないようにだれがどこを守るか、どのポジションにつくか約束事を決めています。私たちは学校や親、地域の人々に守られています。そのことを理解した上でやりたいことだけをするのではなく、自分がやるべきことややらなくてはいけないことをしなくてはなりません。これがチームに対する責任であり自由だと思います。私は選手としてバレーボールでコミュニケーションを大切にプレイしています。コート内での声が途切れてしまうと負けにつながってしまうので声かけやチームメイトとの意思疎通を大切にプレイしています。そうしてバレーボールはボールを落とさないように全員で必死にボールを繋ぐところが魅力です。私は南部先生から教わったことの一つである哲学者の森信三先生の「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉を大切にしています。この言葉が持つ意味をバレーボールや普段の生活を通じて当たり前に行える人でありたいと考えています。

バレーボール部は楽しくかつ厳しく部活動を行なっています。興味のある人はぜひ正門横の中学武道場に来てください。初心者も大歓迎です。

●サッカー部

サッカー部では主に3つのことをコンセプトに活動しています。それらはすべて、部活動での練習や試合だけでなく、普段の学校生活のなかでも意識していることです。

まず1つ目は、主体性です。主体性とは自分の意思・判断によって、自ら責任をもって行動する態度や性質のことです。このことをサッカー部に置き換えてみると、練習の開始時間よりも早くグラウンドに行きチームのアップや練習の準備をすることで、練習をスムーズに始めることができます。この場合、早く行くことで自分が自主練習する時間を作れることもできるし、チームの練習をスムーズに行うためのサポートにもなります。このように、自分のためだけでなく、他人のために行動することができる主体性を身に

つけることが大切だと思っています。

続いて2つ目は犠牲的精神です。犠牲的精神とは、自分を殺し他人のために尽くすということです。サッカー部ではこの犠牲的精神を一人一人が意識しているので、チームに何か足りてない時やめんどくさいと思うことが起こった時などに、「自分がチームのためにやろう。」と思って行動します。この事は日々の学校生活でも十分に活かされていると思います。

そして3つ目は、勤勉性です。勤勉性とは簡単に言うと真面目にものごとく一生懸命励むことです。これは今までの2つのコンセプトと違って、やろうと思えば今すぐにでも身につけ、実行できることです。毎日の授業も部活も、あらゆる事に対して真面目に取り組むということがなによりも大事なことだと思っています。なぜ真面目に取り組むことが大事だと思っているかと言うと、例えば何かチャレンジして失敗したとします。そのときに真面目に本気で取り組んで失敗したのと、不真面目にテキトーに取り組んで失敗したのでは圧倒的に真面目に本気で取り組んで失敗した人の方が成長していると思ったからです。

この主体性・犠牲的精神・勤勉性の3つが、サッカー部が活動する上でのコンセプトです。

そして最後に、サッカー部は夏に行われる草津まつりという小学生とのサッカー交流や、年間を通して、大会の会場運営などで、地域にも貢献しています。

●陸上競技部

こんにちは、陸上競技部です。陸上部は主に第2グラウンド、第3グラウンドで活動していて部員は男子20人、女子8人の合計28人です。陸上部には主に四つのパートがあり、短距離、長距離、跳躍、投擲に分かれて練習に励んでいます。陸上競技はほとんどが個人種目で、一人一人それぞれの目標に向かって、日々精進しています。部全体の雰囲気は、学年関係なく仲は良いけれど、練習中のメリハリはきちんとつけられるようになっていて、緊張感もあります。

チーム全体の目標は、県の総合体育大会入賞及び、近畿インターハイ出場です。このために、日々切磋琢磨して練習に励んでいます。私たちはこの目標に向かって日々の練習を大切に、一つ一つの行動を考えて取り組むようにしています。例えば、本練習前のウォーミングアップでは、身体の中のどの部分を使っているのかということ意識しながら取り組むようにしています。パート別練習の時、短距離では、短い距離だけでなく、三百や四百メートルなどの少し長い距離のインターバルも取り組むようにしています。また、走る時にもあまりタイムが変わらない人と走ることで、競争心を高める工夫もしています。長距離では、スピード強化のため百や二百メートルにも取り組んでいます。長距離は、長い距離を走る種目だと思われがちですが、ラストパートにはスピードも必要なのでこういったトレーニングも行っています。

私たちは、部活動を通して学校、地域、社会に貢献していきたいと考えています。その中でも、ゲームコンダクター滋賀のスポーツボランティアに登録して、研修を受ける中で、ボランティアに対する興味、関心などが高まってきており、実際に地域のゴミ拾いなどに自主的に参加しようとする計画もあります。

陸上競技は身近な動きの延長線だと思うので、初心者の人でも気軽にできるスポーツです。また、ベストを更新していく上で、自分の成長を実感できたり、達成感を得ることが出来ます。少しでも興味を持ってもらい、体験に参加してもらえると嬉しいです。ありがとうございました。

●バドミントン部

高校バドミントン部では、主体性・協調性を大事にし、チームの団結力を向上させることを目標に日々の練習に取り組んでいます。

まず主体性という言葉は「どんな状況においても自分の意志や判断のもと責任を持って行動する態度」だと理解しています。バドミントン部では、部員数が約70名と非常に多く、練習場の使用できるコートも3面しかないので各個人の練習時間は他の運動部と比べると短いです。そのような環境の中で、部員一人ひとりが練習内容に自分の考えを持ち、自ら工夫しながら取り組んでいます。限られた練習時間を最大限に活用するため、終礼後できるだけすぐに集まり、自主的に準備をするなど、部員全員がチームのことを考えながら行動するようにしています。練習内容を話し合い、考える中で、時には衝突もありますが、そ

のような経験を通して、私たちは日々主体性を向上させるよう努力しています。

次に、チームの団結力の向上に関することです。バドミントンは基本的には個人競技ですが、必ず仲間の支えが必要な競技であると考えます。例えば、自分自身がスランプに陥ったとき、その解決の答えを、日々共に汗を流し、活動している仲間が教えてくれることがあります。この他に、団体戦に出場した時には、大きな応援が選手のモチベーションを高め、大きな力になることがあります。1人では勝てない相手にも、チームの団結力をもって向かえば勝てることもあります。このような理由から、私たちは団結力を向上させるために、日々仲間と切磋琢磨をしています。

最後に、私たちの活動が社会でどのように貢献しているのかを述べたいと思います。1つ目は、挨拶をすることで学校近辺の方と温かい関係を築いているということです。校外を走りこんで練習するとき、多くの方とすれ違います。そのとき、大きな声で挨拶をするように部員一同心がけています。2つ目に、試合の際に、会場の設営や片付けを率先して行い、試合の際に場所を提供してくれている公共の体育施設の美化活動に励んでいます。以上このように、私たちは目標を掲げながら、日々活動をしています。

● 剣道部

剣道部では、大会で良い結果を残すといった目標に向けて部員一人一人が自主的な考えを持ち、個人的な能力を高めると共に、その考えを共有しあい、団体としても能力を向上させるといった方針をもって活動しています。

「自主的な考えを持つ」というのは、練習において今、自分が何をすべきか、どこを直すべきかといった点を自ら考え行動することで、学校生活においては自我をもって周りの意見に影響されにくい人間になるといった意味があります。これを踏まえて普段の練習において、基本的な事をする際もより工夫して取り組む、目標の大会においてはそれを想定した緊張感をもって、ただ体を動かすだけではない目標に向けての意味のある練習を行っていきたくと思います。また実力をさらに伸ばしていく為にも、他校との練習試合などを通して、経験を積んでいけたらとも思います。

貢献という面では、学校、地域、社会に対して、学校では元気の良いあいさつをする、友人と仲良くするという校内全体の雰囲気良くするような行動を中心とし、地域に対しては、困っている人や、体の弱い老人を助けるといった行動をとり、社会に対しては、率先して人の模範となるような行動をし、自然に対する配慮をも忘れずにしていきたいと思います。

最後に剣道部では、やるべきことを率先して行える、良い部活にしていきたいと思います。

● 卓球部

新1年生のみなさん、こんにちは。卓球部です。我々卓球部は、1階の武道場で3年生4名、2年生3名の合計7名と少ないですが、日々、県大会のベスト4という目標に向かい、努力しています。この部活動では、考える時間も必要としますので週に1回金曜日に休みを設けています。大会は年に8回ほどあり、その大会を通して見つけた課題を克服するために、自分の課題と向き合いながら、前進しています。卓球は「個人」でやるスポーツだと思いがちですが、「団体」です。そのように思うのは「基本練習」という練習です。この練習は、ラリーを長く続けて、基本を確認するという目的があります。ラリーを長く続けるためには、お互いに配慮しなければなりません。このようなことから、相手を優先して行動したり、尊重したりします。

活動を通し、主体的な5つの力である「コミュニケーション力」、「創造する力」、「生き抜く力」、「高い人間力」、「表現する力」があります。卓球の観点からすると、この中では「創造する力」が大切です。理由は試合の場でどのような筋道を立てると点につながるのかということを考えるからです。また、相手の弱点はどこかなどを考えることで、勝利につながります。つまり、卓球は「考えるスポーツ」だといえます。

このようなことから、卓球をすることにより、考える力、すなわち将来に必要な力を育成することができます。それだけでなく、他人に配慮する力、すなわち貢献する力も培うことができます。その力は将来だけでなく、学校生活や日常生活の中でも活きてきます。初心者でも大歓迎です。1度足を運んで、見てくれたらうれしいです。ご清聴ありがとうございました。

●吹奏楽部

こんにちは、吹奏楽部です。私たちは楽器を通して人々に安らぎを与える、「誰からも愛されるバンド」を目指して、現在 31 名で日々活動しています。

私たちは年間を通してかなりの数の演奏活動を行っていますが、その内容は、7 月の吹奏楽コンクールや 3 月の定期演奏会から、光凜祭や体育大会、高文祭での演奏、地域での依頼演奏など様々です。依頼演奏に関しても、「小学校の芸術鑑賞会」、「敬老会」、「プールサイドでの演奏」、「桜まつり」、「宿場まつり」、「秋まつり」など一様ではありません。このように様々な機会や人々の前で演奏するために演奏する曲目も「行進曲」、「吹奏楽のために書かれたオリジナル曲」、「クラシックからのアレンジ曲」、「pops」、「童謡」、「アニメの主題歌」、「演歌や懐メロ」などの多ジャンルに亘っています。様々な曲を演奏していくことによって、そのジャンルに合った演奏の仕方も学んでいます。

また私たちは、人間的に成長していくことも目標にしています。基本的な事ではありますが、あいさつや周りの人への気づかいなどに力を注いでいます。あいさつは相手とのコミュニケーションツールとして大切にしています。また、日々練習出来るのは、「様々な人々の支えのおかげ」と部員一同自覚し、常に感謝の気持ちを忘れず一生懸命練習をしています。この感謝の気持ちを演奏という形で返していきたいと考えています。それに見合った良い演奏を出来るように、これからも練習を積み重ねていこうと思っています。

●放送部

こんにちは、放送部です。みなさん、放送部と聞いて何をイメージしますか？お昼の校内放送だけを想像する人が多いと思います。しかし、それだけではありません！

放送部では、アナウンスや朗読をしたり、ドラマやドキュメントを作ったりしています。

光泉高校放送部では「一歩前に出て創造し発信する。」を目標に活動しています。「一歩前に出る」とは、積極的に行動すること、そして「創造」とはオリジナルのアナウンスや番組を作るということです。

また、「正勝吾勝」の言葉を大切にしています。「正勝吾勝」とは、「本当の勝利とは人に勝つことではなく、自分に打ち勝つことだ」という意味です。

私たちは、これらの言葉のもとで、全国大会に出場し、他府県の放送部の仲間と交流しています。

学校・地域社会に対しては次のように貢献しています。お昼の放送・体育大会アナウンスだけでなく、学校の OPEN DAY 司会や、FM 草津へのラジオ番組提供や大会の司会などです。

高校から始めた人ばかりですが、たくさんの方が県大会で入賞しています。

何か新しいことをしたい人、人前でスマートに発表したい人、人とつながって視野を広げたい人、一緒に放送部で活動しませんか？

水曜日と土曜日に 2F 職員室前の放送室で活動していますのでぜひ来てください！

●将棋部

みなさん、こんにちは。私達将棋部は、4 階の化学教室で活動しています。日時は水曜日を定例日とし、その他の日は自主練習としています。

さて、将棋という言葉を知るとどのようなイメージがありますか。かたいし暗いと思っている人もいれば、最近ニュースで話題になっているけどルールが分からないし難しそうと思っている人などどちらかというとマイナスなイメージが多いかと思います。私自身、入部前はとてかたそうなイメージがありました。しかし、それは違いました。県大会を始め、近畿大会や全国大会に出場するにつれて県内だけでなく県外にも友達を作ることができました。これはあくまで私の憶測に過ぎませんが、他の部活は、県内の学校もしくは県外の学校と戦ったとしても、一人一人までには仲良くなることは難しいと思います。

また、ルールが難しいと思っている人もできると思います。実際は部員の一部を除いてほとんどが素人です。女子は駒の動かし方などのルールを知らない人もいました。素人の多い部活ですが昨年度は様々な結果を残すことができました。県大会では、男子団体第3位、女子団体第1位、女子個人第1位、第2位、近畿大会では、女子個人第3位などです。また、女子個人の2人は全国大会にも出場しました。今年度も昨年度と同じく全国大会に出場を目指しています。また、近畿大会でも良い結果を残せるようにしたいです。

目標達成に向けて文化部として珍しいと思いますが、年に2回ほど練習試合を行っています。他校の生徒と戦うことで、新鮮な気持ちで将棋に望むことができます。そこで今まで思いつかなかった手を指すことができ、知らなかった戦法などを見つけることができます。また、練習でより本番の雰囲気でき、対局出きるように普段からリーグ戦を行っています。

練習以外の活動としては、年に1度11月に南草津駅周辺で行われているみなくさまつりに参加しています。そこでは将棋ブースを出店して、地域の子どもからお年寄りまで幅広い年代の方々と対局し交流しています。この祭を通して地域との関わりを深めています。この部活は男女問わず、経験者は勿論初心者も大歓迎です。みなさんも是非、一緒に対局してみませんか。ご清聴ありがとうございました。

●英会話部

私達英会話部の活動方針は、英語でコミュニケーションをとる能力を向上させることです。その為に二つの目標を達成しようと考えています。

まず一つ目は、自分の考えや意見を相手に伝える能力を向上させることです。この目標を達成する為、日々の活動の中で、社会問題や季節行事、そして趣味など様々なことについて、英語で意見交換をしようと考えています。

二つ目は英語の運用能力を向上させることです。これは通常の活動の中で、お互いに質問し合うことや、聞き取れた内容を伝え合い聞き取り合うことで慣れていき向上させていこうと考えています。夏休みには京都で外国人の方へのインタビューを実施します。インタビューの中では、外国人の方に声をかけて挨拶し、交流を楽しむという経験を通して、技術的な面だけでなく積極的に活動できる人格の形成が可能だと考えています。

そして、英語はコミュニケーションを取るための道具の一つであるという認識を持つ為に、難しい単語や文法を使うことに拘るのではなく、滑らかな会話を重視して活動に努めていこうと思います。また、相手の考えに対して自分の考えを示すなど、一方通行にならない意見の交流を目指したいと思います。

光泉では毎年留学生を受け入れているので、積極的にその方たちと触れ合い、異文化交流に貢献していきたいと思います。更に、自分の意見を持ち、言葉の壁を感じないグローバルな人間となり将来社会に貢献できるよう努めます。

以上のことを念頭に置き、コミュニケーション能力を向上させることを目指して活動を進めていきたいと思います。

●文芸漫画部

私たち文芸漫画部は、毎週水曜日土曜日、美術室で活動しています。私たちは学年問わず協力しながら画力の向上に努めており、とても自由な部活です。それぞれの取り組みを尊重し、部員同士切磋琢磨しながら日々作品を作っています。また文芸漫画にはかるた班があり、人数はすくなくですが自分たちで目標を決め、各々の力を伸ばしながら大会に向けて頑張っています。

文芸漫画部には大きな大会などは無いですが、定期的に駅のブースに季節に沿ったテーマのポスターを掲載したり、部誌を発行したり、また文化祭では展示等の活動を行ったりしています。そういった中でこれからは、以前までの個人で作っていた作品と同時に、部員全員もしくは幾つかのグループに別れ一つの作品を作っていくことを目標としていきたいです。例えば部員一人一人が絵を描いて、それを集めてモザイクアートにするような部活全体で作れる作品などを考えています。

これは個人での活動の延長線であり、個人で作品を作ってきた中で得た考えや意見などを持ち寄る場としていきたいです。それを通して部員の結束力、協調性を高めると共に、皆で一つの物事を達成したり、今まで個人でできていたことよりも規模を

大きくしたりすることで、よりいっそう一人一人の責任感や作品を作ることの楽しさを強めていけたらと思います。

今後の計画として、計画として、まずはモザイクアートを文化祭に向けて製作していきたいです。それぞれがヶ月に何枚などノルマを決め、自身ができる範囲で頑張っていきたいです。また地域行事であるみなくさまつりなどにも参加し、地域との交流を深めると同時に学校とはまた違った規模の大きな作品を作っていきたいです。

最後に、私たち文芸漫画部は学校行事で使用する冊子の表紙のデザインの考案や製作また、先程のみなくさまつりなどの地域行事への積極的な参加を通して、光泉の生徒である皆さんを生徒会と共に陰から支える存在となれるよう頑張っていきたいと思います。なので、私たちは一緒に作品づくりに向き合っ、真剣に取り組んでくれる人を募集しています。少しでも興味のある人は是非一度美術室に来てみてください。お待ちしております。

●華道部

私たち華道部は、部員十三人で講師の先生の指導を受けながら活動しています。活動日は、毎月第三水曜日で、活動場所は書道室です。

講師の先生は、未生流笹岡の家元で、華道初心者の私たちにも、わかりやすく、丁寧に指導して下さいます。華道部では、様々な花の個性や特徴を活かしながら、花を生ける楽しみや喜びを味わうことで、自然への感謝の心や自然を楽しむ心を養い、日本文化への理解を目標にしています。花を通して、季節の移り変わりを身近に感じることができ、四季が楽しめます。また、花々をたくさん知ることができ、華道の基本的な知識を身につけることもできます。

文化祭では、普段の成果を共同作品として展示します。月一回という少ない活動ですが、全員がボランティアとして南草津駅や老人ホームへの生け花展示をしています。駅を利用されている方に、声をかけていただいたり、施設の方にお礼や感謝の言葉をいただいたりすることが多く、自分たちの活動が、地域とのつながりに貢献しているということを実感しています。

留学生の来校時には、英語で交流を深めながら、花を生け、日本文化を伝えました。華道を通して交流することで、言葉の壁を感じずに、日本文化を体験してもらうことができました。国際交流では、考え方や価値観の違いをあらためて感じることができ、視野を広げるきっかけになります。

華道は堅苦しいと思うかも知れませんが、光泉高校華道部では、楽しく和やかに活動しています。初心者の方でも大歓迎です。ぜひ入部してください。

●コーラス部

今から今後のコーラス部の目標について2つ紹介します。一つ目は学校内外で精力的に活動することで歌うことの楽しさ、「心のハーモニー」を皆さんに伝えていくことです。皆さんに応援される部になるためには、見て、聞いて「コーラス部、頑張ってるな！」と感じてもらえる活動が大切だと考えています。その一環として光泉にとって大切な行事であるミサでは、聖歌隊と協力し、皆さんにとって、より神聖で厳粛なミサとなるように心を込めて聖歌を歌っています。また、幸いなことに私たちコーラス部は毎年外部でも歌わせていただく機会に恵まれています。以前は近隣の特別養護老人ホーム「やわらぎ苑」に伺い、「歌」を通して交流を持ちました。最近では、草津総合病院でのクリスマスコンサートにお招きいただき、ささやかなプレゼントとともに、我々の歌声を楽しんでいただいています。これらの機会を最大限に使わせていただき、経験を積むことはもちろん、地域の方々と光泉とが一つに結びつくように、これからも努力していきたいと考えています。

そのためにも、合唱の技術を向上させることを二つ目の目標に掲げていきます。光泉高校コーラス部として、皆さんに応援していただけるだけの演奏を目指すとき、私たちに圧倒的に足りないものは技術力です。では、その技術力をどのように伸ばしていくか。本年度中心となるのは、今年8月、佐賀県で行われる全国高等総合文化祭に向けての練習です。光泉高校コーラス部の部員からも滋賀県合同合唱団の一員として三名が出演します。その部員が中心となり、他校との合同練習で得た、音楽技術や工夫を通して現在の私たちの課題を解決していこうと考えています。そして、この経験をNHK合唱コンクールや滋賀県高等学校総合文化祭の練習の糧として、結果を残していきたいと考えています。

学校内外の積極的な活動と合唱技術の向上、この二点を今年のコーラス部の目標として活動していきます。

●茶道部

茶道部の活動方針・目標は、「心」です。茶道で必要なのは、相手をもてなす心、相手に対する思いやりと感謝の心を身につけることです。

目標に向かっての具体的なプランとして、入部したばかりの頃は基本的な動作の練習をし、それができるようになると本格的な点前を習います（点前とは、お客様にお茶を差し上げるための作法です）。練習の成果を発揮するのは、年に一度の文化祭です。文化祭では、お茶席を設け、点前を見ていただきながらお茶とお菓子でお客様をもてなします。同時に、校内の先生や生徒に自分でお茶を点てて飲んでいただく「茶道体験」も行います。

学校や地域の方への貢献としては、海外からの留学生を招いて文化交流をし、茶道を紹介して日本の文化に触れていただきます。また、中学・高校の卒業式と入学式では、来賓の方々に呈茶を行っています。

このように、学校行事だけでなく、様々な機会に茶道部を知っていただくための活動を行っています。たくさんの人と接する活動のため、緊張もするし、忙しくて大変なこともあります。一方、とてもやりがいがあります。一方、普段の練習では落ち着いた時間と空間を味わえる部活です。部員全員、高校入学後に茶道を始めた部員ばかりです。初心者大歓迎です。茶道を知ってもらうため、新入生だけでなく、在校生の入部もお待ちしています。

●数学部

数学部は、数学を通して、論理的な考え方を身につけることを目標としています。数学で使う数字や記号は、世界共通のもので、例えば、相手の国の言語は話せなくても、数式などを紙に書いて相手の人に見せると、自分が考えている数学の内容が伝わるのです。つまり、数学は世界共通のこととも言えるのです。そう考えれば、「数学」は素晴らしいものだと思いますか。また、数学は科学における基礎学問です。すなわち、物理や化学、生物、地学など、どの学問であっても、数字はもちろん、数式も使って思考を進めています。よって、科学技術の発展に、数学が貢献していると言っても過言ではないのです。

以上のことから、数学を通して論理的な思考を身につけることは、大げさに言えば世界に通用するグローバルな考え方を身につけた人間になれるということです。これを知ればあなたも「数学」をやろうという気になってきませんか。また、決して「数学」を難しいと思う必要はありません。

昨年の具体的な活動は、一学期は、毎週担当の部員が考えた数学の問題をみんなで解くということをしていました。二学期からは「数学検定準一級合格」を目指して、数学検定の問題をみんなで解いています。

●書道部

こんにちは。書道部です。現在、書道部は中学生6名、高校生2名で活動しています。毎週1回、水曜日に活動してきます。また、「日本習字」に加盟することができます。練習したものを月末に提出すると級と評価がついて返却されます。「日本習字」に加盟せずに好きな文字を書くことができます。興味のある人は中学職員室にいます。嶋谷先生か阪本先生のどちらかに声をかけてください。たくさんの方の高校生入部者をお待ちしています！

●自然探究部

自然探究部です。部活紹介にあたって自然探究部とは何かという所から説明します。部活内容としては農芸をメインに活動しています。

去年は果物や旬の野菜を部員全員で育てました。また、長期的活動としては様々な研究に取り組みました。研究内容は琵

琵琶湖の環境問題に貢献すると共に滋賀県の有名大学の研究機関とのコネクションを築くことで実践的且つ、私にとってはとても影響力あるものでした。これらの活動を通して今年の部活動の目標は主に3つの力を身につけることにあります。

まず1つ目は主体性です。これは去年も同様で、育てる野菜や研究の内容、そして研究の手順など各自で決定します。このような活動には、主体性だけでは成り立ちません。同時に独創性や創造性が求められます。この3つの力を、部活動を通して少しずつでも確実に身につけていきたいと思っています。私がこの3つの力に注目しようと考えたのは本校の教育目標である「カトリックの教えに基づく人格形成」を目にした時でした。私達の部活動は自然への感謝の気持ちを持ちつつまたそれを探求することで、社会への奉仕の精神を身につけ、実践する力を培っていくことが出来ると感じました。

また私は、主体性、独創性、創造性のそれぞれの力は自己確立を促す要素であると確信しています。自分を知り、分析することはこれから大きな社会へ1歩を踏み出す私達にとってとても大切な事です。これらの力を全て身につけられる部活動はなかなかありません。しかし研究において、これらの力を身につけられる事だけが目的ではありません。私がもう1つ大切にしたいことは楽しむことです。実際に私達は、研究材料の白菜を使って鍋パーティーをしました。例えば、キムチ鍋やメにリゾットを食べるなど、色々しました！！私が入部した動機としても食べることが好きだったり、自分の将来に少しでも近すぎたかったりしたからです。

部員の皆の動機はそれぞれですが同じ目標を胸に楽しく活動しています。いつでも体験入部をお待ちしています！！

●ボランティア同好会

私たちボランティア同好会の今年度の目標は、いくつかありますが特に地域、学校に関係する多くの人のニーズに答えることです。何故そのような目標を立てたかという理由からです。昨年度末に他校とボランティア活動テーマを決定し、交流する機会がありました。その中で、環境やスポーツ、特別支援、教育、動物保護などに対するボランティアがしたいといった意見が出ました。ところが、それはあくまで自分たちがやりたいことであり多くの人の求めていることなのかわからないと他校の先生のお話を聞き気付いたからです。そして、ボランティア活動というのは私たちが経験をつむことが出来る活動であると同時に、多くの人が必要としている手助けをする活動でもあったと考えました。

この目標を達成するためにはそもそも、地域や学校からのニーズを私たち自身が知る必要があります。今までの活動では、私たち自身が「〇〇が汚れているから清掃に行こう」というような、私たちが情報を得て自発的に活動していたのではなく、「先生に頼まれたので〇〇に清掃に行こう」といった主体性の欠片もないものだったように感じます。これからはそのような点を改善し、自分たちで行動し地域、学校のニーズを入手したいと考えています。

例えば、地域の方がどのように困り何を求めておられるのかを知るための活動を行ってみたり、アンケートを私たちが作成し実施したりすることを検討しています。また、市役所などの情報が集まる場所に情報収集に行くことが出来ればもっと良いのではないかと考えています。そして、得た情報をもとに私たちができることをしたいと考えています。私たちが企画する活動が地域学校に貢献できるように精一杯努力していきます。

最後に、ボランティア同好会は活動を通してたくさんのご経験をすることが出来ます。私たちは、年に数回イベントに参加させて頂いています。主に、小学生以下の子供たちを対象にもつくりをしたり、遊んだりすることはとても楽しいです。また、親しみやすい大人の方や他校の生徒と交流し、気軽に楽しみながら活動出来ます。ボランティアに興味がある方はもちろん、子供が好きな方や地域の方と交流してみたい方は、ぜひ一度見学しに来てください。

●コンピュータ同好会

まずはじめに、今皆さんに自分のパソコンいわゆるパーソナルコンピュータ、ノートパソコンやデスクトップパソコンを持っていますか？と質問をすると大半は持っていないと答えるでしょう。理由は簡単です。私たちにはスマートフォンという便利なデバイスがあるからです。これひとつあれば日常生活で困ることはありません。

しかし、これからの社会にコンピュータは必要不可欠の存在です。将来 IT 系に進もうと思っていない人でも、大学生や社会人になったときにほぼ必ずコンピュータを使うことになります。そして、コンピュータを使ううえで身に付けておくべき技術がタイピングスキルです。この技術の有無でコンピュータ上での作業効率が大きく変わります。

ここで一つ目として、コンピュータ同好会ではタイピング技術の習得を目指しています。ミニゲーム形式のソフトウェアを使っているので楽しく練習することができます。次にコンピュータは主に「仕事や生活の補助・効率化」と「芸術・娯楽的な創作活動」のふたつの用途に使われます。

二つ目に、コンピュータ同好会は後者の創作活動に軸足を置いています。その内容はプログラミングなどのメジャーなものから楽曲制作・3DCG といったマニアックなものまで幅広く設定してありますので、自分の興味があることや自身の感性にあったことに挑戦することができます。

また、部活内で制作したもので出来が良いものは文化祭に出展されます。それに向けて部員たちはそれぞれの個性を生かして制作に打ち込んでいます。

これらの活動を通してコンピュータスキルの上達はもちろん、社会人に必要な思考力と発想力を鍛えることもできます。最後に、コンピュータ同好会の目標は大会で優勝することでも、コンテストで賞を取ることもありません。

普段触れないコンピュータで新鮮な体験をして生涯に残る経験をすることが私たちコンピュータ同好会の目標です。

●SRP（スペース・ロボット・プロジェクト）

私たちスペースロボットプロジェクト（通称SRP）は昨年度から新設された部活動で、現在高校2年生5名で活動を行っています。SRPは、

①プログラミングを通して思考力を身につける、②学校や日常生活で役に立つアプリケーションの開発を行う、の2点を活動目標として掲げ、日々活動に励んでいます。

アプリケーション（アプリ）と言ってもたくさんの種類がありますが、SRPでは、

①スマートフォンアプリ、②Windows フォームアプリ、③Web アプリ、の3つを軸に活動を行っています。

スマートフォンアプリ・Web アプリの例を挙げると、学校のパンを自宅からスマートフォンを使って購入予約ができるシステムの構築などが挙げられます。Windows フォームアプリの例を挙げると、生徒証についているバーコードを使って、遅刻届の用紙を電子化するアプリケーションの開発などが挙げられます。

私たちが作ったアプリは、パソコン甲子園・アプリ甲子園・プログラミングコンテストなどの外部の大会に出展します。また、光凜祭で私たちの作ったアプリを披露することで、生徒の皆さんや先生方をはじめ、保護者・地域の方々にも私たちの活動を知って頂けたらと思います。